広報 あさぎり

12月15日
No.276

発行所　麻生町1561－9
発行人　電話②0811㈹
印刷所

麻生町役場
小沼幸蔵
麻生印刷

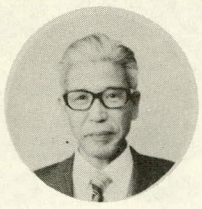
〈人口〉

男	8,966人
女	9,147人
計	18,113人
世帯数	4,114戸

12月のメモ

1日　国保税・固定資産税徴収
7日　民生委員辞令伝達式
8日　選挙管理委員会、子供会育成会役員会
12日　農業基本調査説明会
14日　町議会総務・経済委員会、全員協議会
15日　工業統計調査打合せ会
17日　教育委員会
19日　消防団役員会
20～21日　町議会定例会
22日　例月出納検査、農業委員会総会
23日　町県民税・国民年金保険料徴収
25日　ねずみ駆除
28日　御用納め

第六回臨時町議会
助役・収入役ともに再選



根本　定　助役

根本　清　収入役

昭和五十二年第六回臨時町議会が十一月十七日午後一時から開催され、任期満了にともなう助役および収入役の選任について等、三議案が原案どおり可決されました。これにより助役に前助役の根本定氏、収入役には前収入役の根本清氏がそれぞれ再選されました。

〔議案第54号〕
助役の選任について
麻生町助役が十一月十九日で任期満了となるため、大字杉平八九　根本定氏（大正八年二月二十日生）を再選して議会の同意を求めたものです

〔議案第55号〕
収入役の選任について
麻生町収入役が十一月十九日で任期満了となるため、大字矢幡九一五　根本清氏（大正九年七月二十五日生）を再選して議会の同意を求めたものです。

〔議案第56号〕
老令者医療保障に関する抜本改正について
国民皆保険の仕組みの中で制度的に低所得者層と老人層を多く抱えている国民健康保険事業は、老令者医療無料化と人口老令化現象の進行とともに、他の社会保険制度に比し著しく過重な医療負担を余儀なくされており、早急に対策を講じなければ財政破たんに至ることは明らかである。

本来、老人に対する医療保障は健康管理、予防、治療、リハビリ等包括的医療保障の対策が一貫した制度のもとで行われることが望ましく、その費用は国民が全体で公平に負担する制度を確立すべきであって、現行の糊塗的対策によっては、本格的な人口の老令化時代に対処し得ないものと思料される。

本議会は、以上の趣旨により、政府に対しかねて検討中の老令者医療保障に関する抜本改革を昭和五十三年度中に断行するよう要請する。

右決議する。

「みんなで行う社会教育の集い」
各地で活発に話しあい

地域ぐるみで参加する「みんなで行う社会教育の集い」がいよいよ各地区で実施される運びとなりました。

ふるさとの美しい自然を維持し、すぐれた文化を発展させ、明るく豊かな住みよい郷土を育んでいくのは、わたしたちの願いであり、また責務でもあります。

郷土をよくする研究集会は一昨年度までは、それぞれの地域性と日常の社会教育活動との関連の上に開かれてきました。

そしてこの研究集会は、新しいコミニュティづくりに大きな役割を果たしてきましたが、昨年度からは、さらに在学青少年も含めて地域住民全員が参加して実践する「みんなで行う社会教育の集い」の事業に発展移行していくようになったものです。

このような集いを実践するため、さる十一月二十八日には各種団体の役員で結成された第一回の実践委員会が役場で開催され、さらにその後、地区説明会等を重ねて準備を進めてきましたが、今月九日からいよいよ地区集会がスタートし、活発な話し合いが行われています。

「明るく住みよい町づくりを進めるにはどうしたらよいか」という研究テーマを設定し、在学青少年を含めての地区ぐるみのこの集いが、新しいコミニュテーづくりとしてその成果が期待されます。

◆実施内容

麻生町を太田・大和・行方小高の四地区に定め、各地区において実施していくものでそのうち一回は在学青少年を含めて行います。

地区集会では、地区住民全員が助言者を招いて、地域の課題、生活課題に即して実践運動に結びつくようなテーマを設定して話しあいをするものです。

今年度は地区で各二回開催し、さらに地区学習の集約の場として中央集会を開催して設定されたテーマを中心に研究し、その成果が実践活動につながるようにしていくものです。

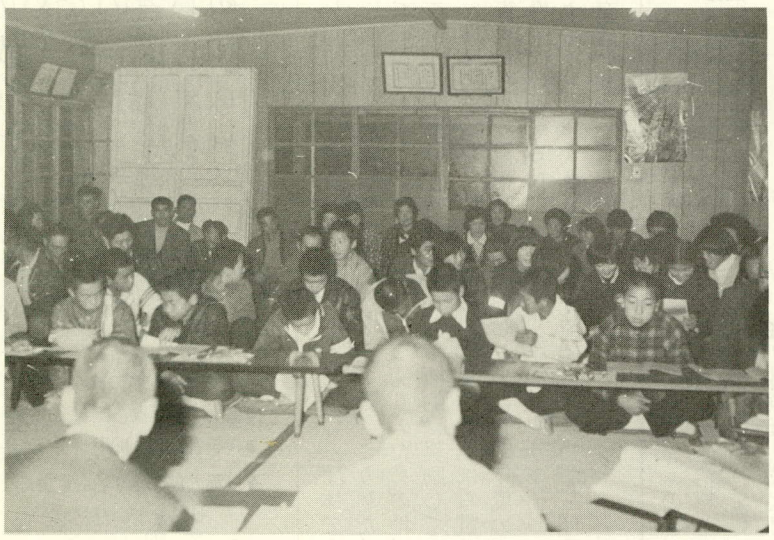
地区学習会の研究テーマ

太田地区　「体力づくりについて」

大和地区　「美しい地域環境づくりについて」

小高地区　「新生活運動の推進について」

行方地区　「青少年の指導について」



中学生をまじえての活発な話しあい（12月10日　石神公民館で）

公民館の図書

12月20日から貸出しを開始

公民館の図書については、これまで未整理であったため貸出しをしていませんでしたが、十二月二十日より貸出しをすることになりました。

どうぞ気軽にご利用ください。

みなさんが読みたい本は家庭へ持ち帰って読むことができますし、また図書室には百科辞典や参考書などがそろっていますので大いに活用いただけます。

なお図書の貸出しについては、公民館に備えてある「館外閲覧申請書」により申請して貸出証を受けてください。

貸出証により一人三冊まで自由に借りることができます。

十二月二十五日に
いっせいにねずみ退治

ねずみは敏感な動物で、各自が慢然と殺そ剤を使用しただけでは、効果があがりません。その駆除には綿密な計画と技術が必要です。カやハエの駆除と同じように全町が一体となり、いっせいに駆除活動を行なえば効果的な駆除ができます。

町では、本年も十二月二十五日、いっせいに薬剤駆除を行なうことになりました。

殺そ剤は、各区長さんを通じて無償で配布します。使用方法は、包装用紙に説明が印刷されていますので、全町が一戸残らず実施されますようみなさんのご協力をお願いします。

〔善〕〔意〕

板峰の茨城製粉株式会社代表取締役谷口元衛さんは、麻生第一中学校へ施設整備費として百万円を贈りました。

麻生の森武恵門さんは、麻生の老人クラブ玄通長寿会へ五千円を贈りました。

麻生ライオンズクラブは、町のゴミ集積所へゴミ集積用カゴ五十個を贈りました。

麻生の半田高生さんは、麻生町公民館へ写真一点を贈りました。

麻生の羽生明義さんは、麻生町公民館へ絵画一点を贈りました。

於下の川尻二三夫さんは、麻生町公民館へ版画一点を贈りました。

麻生の瀬尾正満さんは、麻生町公民館へ飾り木一点を贈りました。

麻生の新橋確さんは、麻生町公民館へ飾り木一点を贈りました。

麻生のハマダヤ書店では、麻生町公民館へ「日本文学全集」五十一巻を贈りました。

麻生の平野士郎さんは、麻生町公民館へ図書一冊を贈りました。

岡の箕輪徳二郎さんは、麻生町公民館へ図書五冊を贈りました。

善意銀行へ次の方が預託されました。

麻生の箕輪嘉三さんは、麻生町公民館へ図書購入代金として百万円。

麻生の高橋英雄さんは、宿老人クラブへ一万円。

蔵川の老人クラブ老和会は大和第一小学校へ図書購入代金として五千二百円。

矢幡の大川能蔵さんは、渚集会所へガス・流し台一式。

島並の市村はるさんは、島並上老人クラブへ五千円。

島並の大野善之助さんは、島並上老人クラブおよび下老人クラブへ各七千円。

島並の高橋祖道さんは、島並上老人クラブへ一万円。

島並の永作虎雄さんは、島並上老人クラブおよび下老人クラブへ各五千円。

宇崎老人会は、大和第三小学校へ竹ほうき二十本。

宇崎の田谷勝さんは、大和第三小学校へノート百二十冊

宇崎の新堀電機商店は、大和第三小学校へえんぴつ二百五十本、ノート百六冊。

宇崎の江口金三郎さんは、優勝カップ一、フラワーボトル六学級分。

白浜の沼里新衛さんは、大和第三小学校へノート百十冊

潮来町の荒張スポーツ店は大和第三小学校へメダル十二個。

年金手帳を大切にしよう

国民年金、厚生年金保険、船員保険に加入しますと、氏名や記号番号などが記入された「年金手帳」が交付されます。

この年金手帳は、以前の「国民年金手帳」や厚生年金保険や船員保険からだされていた「被保険者証」にかわるものです。

つまり、国民年金、厚生年金保険、船員保険の三つの年金制度の手帳です。

年金手帳には、これらの年金制度ごとの記号番号が設定記入され、その人の一生を通じてのもので、将来、年金給付をうけるのに必要な加入期間などの記録が整理保管されますので、一つの年金制度で二つ以上の記号番号をもっていることはありえません。

たとえば、すでに国民年金に加入したことがある人が会社をやめて、再び国民年金に加入するときは、市町村役場へ年金手帳を提出することになっていますが、紛失して記号番号がわからないとか、よごしてしまったなどの理由で提出しなかったりしますと、別の記号番号による年金手帳が重複して交付されます。

そうすると、その人の加入期間などの記録が分散して整理保管されることになり、年金などの給付をうけるさいに不利益をこうむることがあったり、年金の決定が遅れたりします。

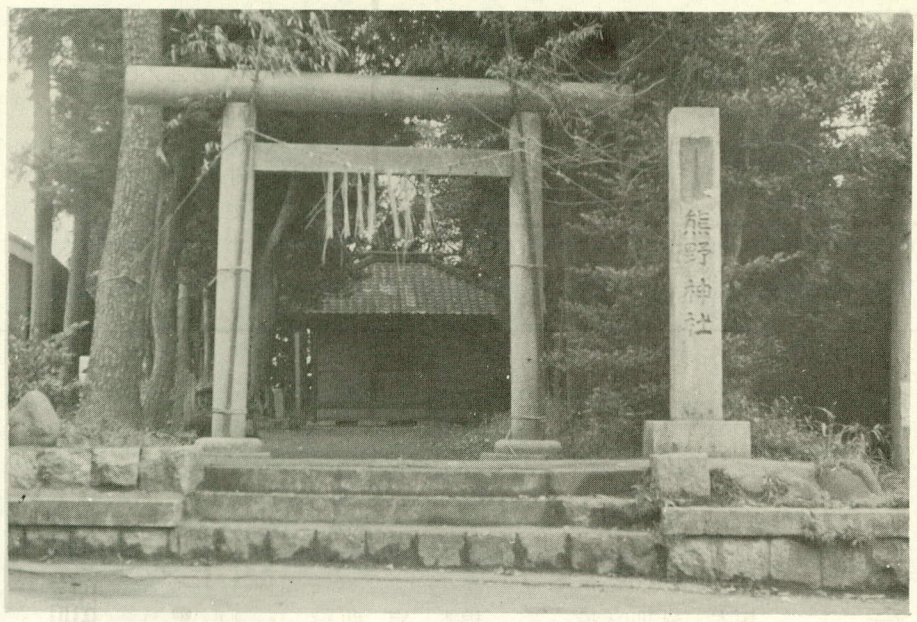
もし、国民年金の記号番号を二つ以上もっている方は、市町村役場（厚生年金保険、船員保険の場合は社会保険事務所）へ申し出て、記号番号を一つにまとめる重複取消の手続をしてください。

年金手帳は、長い期間にわたって使用するものですからいつでも必要なときに提出できるよう大切に保管しましょう。

中小企業 経営者の方へ

事業主が従業員のために設ける福利更生・保健衛生等の施設資金について五百万円以内・期間五年以内・年利率五パーセント以内で貸付ける制度です。どうぞご利用ください。

詳しくは、町の商工担当係県鹿行地方総合事務所にお問い合わせください。



石神の熊野神社

ふるさとめぐり ㉖

石神 熊野神社

石神のほぼ中央、大宮地内に熊野神社があります。

熊野神社は創立された年代は明かでありませんが、ここを中心に古代文化も栄え、大宮の地名もあることから、かなり古くからお宮が祀られていたものと推測されます。

祭神は伊弉諾命、伊弉冊命です。

天和四年（一六八四）二月霊元天皇の御代に熊野神社が営繕された旨を記した梁牌が現存しています。また、明治四十五年三月には、石神地内にあった白幡神社および八幡神社が熊野神社と合併しました。

なお祭礼は、十一月二十三日ですが、近年までは旧暦六月二十三日に祇園祭が行われ神輿渡御や神楽も奉納され、近郊からの多くの参詣者でにぎわいをみせていました。

電気安全にご協力ください

せわしい年末、新しいよき年を迎えるにあたり、東京電力では皆さんの電気安全を守るため設備点検運動を実施しています。

電気からの災害をなくするため次の点について皆さんのご協力をお願いします。

◎お宅のまわりの電線にご注意ください。

切れた電線や雨どい、看板にふれている電線、ビニールなどのからみついている電線はありませんか。発見したときは危険ですからさわらないでご連絡ください。

◎電線の近くに物を近づけることは危険です。

1、タコあげやユーコン遊びは電線の近くでは絶対にしないよう子供さんに注意してください。万一、電線にからんだタコがあったら、さわらずにご連絡ください

2、年末大売出しなどでの飾りつけは、電線から充分はなして取付けてください。

3、アンテナの取付けや屋根のペンキ塗りをされる場合は電線に近づかないよう充分注意してください。

◎建築現場や土木現場での電線にご注意ください。

建築現場や土木現場の近くに高圧線などは通っていませんか。クレーン車や建築用鉄骨が思わぬときに電線にふれ感電した例もありますから充分注意してください。東京電力にお申しつけくだされば危険な場所には防護管を無料で取付けますのでお気軽にお申出ください。なお、防護管は在庫に制限がありますのでご用意願うことがあります。

連絡先

東京電力㈱鹿島営業所

電〇二九九八②一六二一

サラリーマンと年末調整

十二月はサラリーマンにとって年末調整の月です。

サラリーマンのほとんどの方は、毎月の給料から、所得税を差し引かれていますが、この税額は、あくまでもその月々の給料について計算されたものです。そこで一年分の所得に対する税額を正しく計算するため、ことし最後の給与の支払を受けるとき、①年の中途での出生、結婚、就職など扶養親族等の増減、②一年間に支払った生命保険料や損害保険料、③住宅取得控除として税務署から通知のあった金額……などがいっしょに計算されます。

年末調整の結果、それまでに差し引かれた税額が年税額に比べて多くなっている場合は税金が還付され逆に少ない場合は納めることになります

大部分のサラリーマンは、この年末調整によって、ことし一年間の納税が完了し、改めて確定申告をする必要はありません。しかし災害や盗難にあった人、多額の医療費を支払った人などは、確定申告によって税金の還付を受けることができます。

なお、給与の年収額が一千万円を超える人、給与所得及び退職所得以外の各種の所得金額の合計額が二十万円を超える人、二か所以上から給与を受けている場合で一定の要件にあたる人などは、確定申告をしなければなりません。

確定申告の期間は二月十六日から三月十五日までです。

麻の広場

二団体「ばら賞」を受賞

真の豊かさを求める県民運動の一環として、豊かな郷土づくりのために活動を続けている地域の団体等に対し、知事からほう賞を贈る「ばら賞」が、このほど町内に事務局をもつ二つの団体へ贈られました。

一つは水郷ヤングサークル（代表新堀智恵子）

これは役場内に事務局をおく二十名ほどの高校生で結成されているもので、子供会の健全な育成のために実技指導や社会福祉施設への奉仕活動につとめられている団体です。

もう一つは、行方郡農村青少年クラブ連絡協議会（代表根本正義）

これは麻生農業改良普及所内に事務局をおき、郡内の農村青少年クラブ員相互の情報交換や研修会等を積極的に推進するなどして、農業後継者の育成、農業振興のために貢献されている団体です。

県では、こうした豊かな郷土づくりのための地道な活動を積極的に奨励しています。

町関係で「ばら賞」を受賞したのは、昨年度の大和第二小学校区フラワーロード推進協議会に次いで三団体となりました。

初心者のための スキー教室

主催　麻生町体育協会

スキーについての心得、技術の習得を図りながら、心身ともに健全な青少年の育成を目的として、今年度もスキー教室を開催します。皆さんの参加をお待ちしています。

- ●期日　昭和53年1月27日(金)～29日(日)　午後7時麻生町公民館集合。午後7時30分出発。
- ●会場　福島県　国設猪苗代スキー場
- ●参会費　10,000円（貸スキー料金別）
- ●募集人員　40名（定員になり次第締切らせていただきます。）
- ●申込　昭和53年1月20日までに麻生町教育委員会内体育協会事務局へ申込んでください。

俳句

思ひ出の榎大樹や鰯雲　山口 北星
娘を叱る悔淡くあり案山子昏る　広岡 三景
高らかに大会宣す鰯雲　山沢 葭穂
浦暮れぬ茜にそみし鰯雲　羽生 仁也
泉水に影を落して鰯雲　篠原 龍雄
鰯雲口笛となる丘の上　菅谷 房造

短歌

雑草と共に捨てたるコスモスが　箕輪 登美
畑の隅に腰上げて咲く
祖先より伝わる臼は土間にあれど　高野 嘉
心を決めて餅搗機買う
嫁ぎし日の娘の涙にも似し木犀の　小沼 芳江
ま白き小花夕庭に散る
収穫の満たされなくもとりいれの　茂木 米
無事に終りて夫と酒くむ
雨にうたれゆらぐコスモス去年の日は　椿 よね
夫在しけりともにめでしが
次々に下る金利に貯えの　土子喜美子
老後のもくろみ意欲うすれる

戸籍の窓口

おめでとうございます

出生者　世帯主　住所
吉崎 昌憲　彰　富田
深沢恵美子　義和　麻生
宮本 景子　政和　〃
斎藤 祐一　俊雄　〃
小嶋慎太郎　善衛　矢幡
坂本 義典　貞義　石神
大盛 悦子　正巳　〃
大槻恵美子　武　蔵川
箕輪 敦　長衛　宇崎
平山めぐみ　高徳　〃
高野 友和　喜久　四鹿
中根 靖章　小牧
高柳 剛　正男　〃
宮内由加里　兵樹　〃
大川 孝幸　好美　〃
高崎 久枝　ちか　天掛
小沼 友和　貞彦　於下
根本 若菜　治彦　行方
箕輪 美希　三郎　南
石川いずみ　克己　橋門
渋谷久美子　信也　小高

おくやみ申し上げます

死亡者　㊟世帯主　住所
平野 とよ79　春男　麻生
坂本捨次郎83　秀蔵　〃
大野 茂84　豊明　〃
手賀 いね88　喜兵衛　根小屋
箕輪 いせ93　新作　宇崎
箕輪 ふく83　保　岡
谷口 勉46　かつ　小牧

職員の異動

十二月一日付で職員の異動がありました。（　）内は旧所属です。

◎退職

樽見義雄（税務課長）　堀江福子（太田小学校用務手）

◎新採

新橋いち（太田小学校用務手）

◎異動

税務課長の後任として、田口重幸町民課長が兼務することになりました。